

令和6年10月25日（金）

安来市立広瀬中学校

授業者 教諭 原 好可

1 単元名 「推し」（好きな人物）を ALT に紹介しよう

(Sunshine English Course 1 Program 6 The Way to School)

2 単元の目標

安来市に住む ALT に、自分の「推し」（好きな人物）について知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話すことができる。

3 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと 【発表】	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
--------------	---

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 【発表】	- 人称代名詞（目的格）や疑問詞 why および接続詞 because を用いた文の形態と意味、用法を理解している。 - 自分の好きな人物について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話す技能を身につけている。	安来市に住む ALT に「推し」（自分の好きな人物）について知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話している。	安来市に住む ALT に「推し」（自分の好きな人物）について知ってもらうために、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話そうとしている。

5 学習の基盤

(1) 教材について

本単元の **Think1** では、エミリーが健に、インターネットで調べている「世界の果ての通学路」という映画について説明している場面である。映画の主人公であるケニアの少年ジャクソンが、毎朝、妹と 15 キロの道のりを 2 時間かけて通学していることや、2 人の通学路はキリンが生息するサバンナであることが述べられている。**Think2** では、エミリーが、2 人の通学路は大変危険で、ゾウが通学途中の子どもたちを襲うことがあることや、2 人の両親は彼らが安全に通学できるように祈っていることを説明している。ジャクソンが危険を冒してでも学校に通うのは、彼には夢があるからだと言、エミリーが健に言う。自分たちとは異なる国で学校生活を送る少年の話を読むことで、「私たちが安全に学校に通えていることは当たり前ではない」ということや「夢に向かって必死に学ぼうとする人がいる」ことについて、改めて考えることができる題材である。

言語材料としては、**Scenes1** では「人称代名詞（目的格）**him, her**」を、**Scenes2** では「疑問詞 **why** および接続詞 **because**」を学習する。これらの用法は、発話や対話の継続を促したり、論理的な意見や情報を発信したりする上で重要な表現であり、既習の言語材料との関連性を整理することで表現の幅が一段と広がると考える。また、**Interact** では、「推し」（自分の好きな人物）について、やりとりをする題材となっている。発表ややりとりをする中で、生徒が「人称代名詞」の使い方や自分の

気持ちや考えの根拠を相手に伝えることができるようになる単元である。

(2) 生徒について

個人情報保護のため省略

(3) 指導について

生徒の「伝えたい」という意欲が、うまく「表現力」につながるような学習活動を取り入れたいと考えた。そこで、本単元のゴールとして、安来市に住む ALT に「推し」（自分の好きな人物）を紹介する活動を設定する。以前会ったことのある市内の ALT に自分の「推し」を話すという設定は、生徒の「自分のことを伝えたい、知ってほしい」という思いを引き出せるだけでなく、目的のある表現活動を行うことで、生徒が意欲的に活動に取り組めると考える。

導入では、単元の目標とゴールの活動を示し、生徒が具体的な活動のイメージをもてるようにする。また、ALT からメッセージを直接伝えることで、活動への意欲付けを行う。次に、「推し」を紹介するときに必要な表現やその使い方を、実際の使用場面を通して身につけることができるようにする。そして、お互いに自分の好きな人物についてやりとりしながら伝える内容を組み立てていき、協働することによって自身のスピーチの精度をあげていきたい。自信をもって発表できるよう、ペアやグループでの練習の場を十分に設定していく。また、その際、タブレットを活用し、生徒が意欲的に活動できるようにする。

1 学期に行った「自己紹介」の単元では、相手にわかりやすいスピーチをするために、大切なポイント（視点）を生徒自身が考え、最終的に「相手意識」「表情・明るさ」「興味をひく内容」「伝える工夫」を全体で共有した。相手意識をもちながら、自分の考えや意見を表現することを意識し、聞き手にとって効果的な伝え方についても考えながら活動しようとする生徒が多くいた。スピーチ後にアドバイスを伝え合う時間をもったり、代表生徒が全体で発表したりするなどし、引き続き指導を工夫していきたい。

帯活動では、毎時間、授業の初めに Small Talk を取り入れ、既習表現を用いて繰り返し対話する機会をつくり、基礎的・基本的な定着を図るよう努めている。小学校においても、映像を見たり、教師のやり取りを聞いたりして、既習事項について、Small Talk を行っている。慣れ親しんでいる小学校での活動を中学校でも継続し、さらに進化発展させていきたい。生徒の興味関心を引く話題を取り上げ、やる気を維持しながら、話したり書いたりしてアウトプットする機会を多くもち、自信をもって表現活動に取り組めるよう支援していきたい。

6. 研究との関連

本校の研究主題 「未来へつながる思考力・判断力・表現力の育成」

～互いが高まる伝え合い活動を通して～

- ・「伝え合い活動」を通して、自分の考えを重ね、深めていくことができる授業づくり

○英語科での取組

- ・帯活動での伝え合い活動の充実
- ・単元末の言語活動の工夫

7 単元の指導計画と評価計画

時	ねらい ・ 主な学習活動	評価			
		知	思	主	形成的評価 評価方法等
1	○単元目標と単元末の活動を理解する。 ○自分の好きなキャラクターについて即興で伝え合うことができる。 ・人称代名詞の用法を理解する。 ・本文の内容を理解する。 ・タブレットを用いながら、自分の好きなキャラクターについて即興で伝えあう。	○			人称代名詞の意味や用法を理解している。 <後日ペーパーテスト>
2	○好きな映画やテレビ番組、マンガ等について、理由をたずねたり、答えたりすることができる。 ・疑問詞 why、接続詞 because の用法を理解する。 ・本文の内容を理解する。 ・好きな映画やテレビ番組、マンガ等についてたずねたり、答えたりする。	○			疑問詞 why、接続詞 because の意味や用法を理解している。 <後日ペーパーテスト>
3	○海外の通学事情について知るために、映画について書かれた会話の要点を捉えることができる。 ・本文の内容を理解し、音読練習する。 ・ケニアの通学事情について、ペアで話し合う。				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。
4	○海外の通学事情について知るために、映画について書かれた会話の要点を捉えることができる。 ・本文の内容を理解し、音読練習する。 ・自分がなぜ学校に通うのか、ペアで伝え合う。				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。
5	○自分の「推し」について、安来に住む ALT に知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、スピーチのための準備をすることができる。 ・モデル文を聞く。 ・タブレットを使ってわたしの「推し」について情報を整理し、マッピングを行う。 ・スピーチ原稿を作成する。				記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。

6 (本時)	○自分の「推し」(好きな人物)について、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話すことができる。 ・相手を意識した効果的なスピーチの伝え方(ポイント)を確認する。 ・グループを変えながら、スピーチを行い、お互いに質問したり、アドバイスをしたりする。 ・友達のアドバイスを聞き、より良いスピーチにする。	○		自分の「推し」について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話す技能を身につけている。 <行動観察、タブレット>
7	○市内のALTに向け、自分の「推し」を伝えることができる(録画)。		○ ○	・安来市に住むALTに「推し」(自分の好きな人物)について知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話している。 <パフォーマンステスト>

8 本時の学習

(1)本時の目標

自分の「推し」を知ってもらうために、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

(2)本時の展開

時	生徒の学習活動	教師の支援 ◎評価	準備物
導入	・あいさつ ・Small Talk	・あいさつをする。 ・英語でのやり取りを通して、前向きに学習に向かう雰囲気を作る。 ・英語をどのように伝えればよいのかわからなかった表現などを聞き、全体で共有する。	
展開	・本時のめあてを確認する。	・本時の学習への見通しをもてるように具体的に伝える。	教師用タブレット HDMI変換アダプタ
	市内のALTの先生に「推し」の魅力が伝わるよう、より良いスピーチにしよう。 ・この時間にできるようになることを意識する。 ・発表内容を確認、用意したスライドを用いて個人で練習をする。 ・グループでそれぞれの発表を行い、お互いに質問やアドバイスを伝え合う。 ・代表の生徒がクラス全体の前で発表する。 ・再度グループを変えて、新しいグループで伝え合う。	・この時間で自分ができるようになることや意識することを確かめる。 ・スライドを用いて効果的に伝えられるように、相手により分かりやすく伝えるためのポイントを確認する。 ・途中で中間評価を入れ、もらった感想やアドバイスを共有する。 ・代表生徒の良かった点を、全体で共有する。よりよい発表にするための工夫や音声・内容に関するフィードバックを行う。 ・もらった感想やアドバイスを生かし、さらに良い発表になるよう励ます。 ◎自分の「推し」について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話す技能を身につけている。 <行動観察、タブレット>	生徒用タブレット

	・代表の生徒がクラス全体の前で発表する。 ・原稿の加筆修正、およびスピーチ練習を行う。	・発表者を指名し、全体の前で発表させ、どこが良かったか全体で確認する。	
まとめ	・本時のまとめを行う。 ・自己評価シートに振り返りを行う。 ・次回の活動を確認する。 ・あいさつ	・次回の活動の予告をし、単元の見通しをもつことによって意欲を高め授業を終える。 ・あいさつをする。	振り返りシート

(3)本時の評価

十分満足できると判断される生徒の姿	おおむね満足できると判断される生徒の姿	支援を要すると判断される生徒への手立て
・自分の「推し」(好きな人物)について、自分の考えをより詳細に整理し、適切な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話す技能を身につけている。	・自分の「推し」(好きな人物)について、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話す技能を身につけている。	・十分な口頭練習を行い、発話に対する苦手意識を取り除いてから、コミュニケーション活動に取り組ませる。 ・学習した内容を用いて、質問や意見が述べられるように、個別に指導する。
十分満足と判断される生徒のスピーチ (例)	おおむね満足と判断される生徒スピーチ (例)	
Look at this picture. Do you know anything about him? He is Shohei Otani. He is a famous baseball player. I'm a big fan of him. He lives in the U.S. He plays in Dodgers. He has a dog. His name is Dekopin. I want to be like him. Thank you.	Look at this picture. Do you know anything about him? He is Shohei Otani. He is a famous baseball player. He lives in the U.S. He plays in Dodgers. He is cool. I like him very much. Thank you.	

(4)授業研究の視点

- ・本時の「伝え合い活動」は、生徒の考えが深まるのに有効だったか。